

合同ゼミを終えて

金子 佳祐

今回の合同ゼミを振り返ってみて、一番うまくいかなかったことは、チームでの情報のやり取りである。もっと全員が掲示板などの連絡ツールを積極的活用できれば、ミーティングで全員が集まれなくとも、スムーズな作業ができたと思う。僕たちのチームは時間があるにも関わらず「分担されたとこだけやればいい」という少し消極的な雰囲気でした。今回は、その消極的な雰囲気がこまめな連絡を怠る結果となり、それがそのままプレゼンの形になったのだと思っています。他ゼミからの感想を見ても、時間配分によるスムーズさの欠如、という感想が多くありました。前日までスライドを調整しているくらいなので、練習不足だと思ったので、次回このような機会があれば、余裕をもって行動できるよう、みんなを動かせるように心がけたいです。

内容に関しては、練習不足などを除くと、感想にもあるように、アニメーションを多く使いとても見やすいスライドになっていたと思うが、グラフなど数字を用いると、見やすく、より説得力のあるものになると思いました。結果としてディベートジャッジペーパーの評価を見ると僕たちのチームの点数は、態度、チームワーク、時間配分、どれを取っても決して良いものではありませんでした。ただ、個人的な感想ですが、僕たちのプレゼンが最悪だったとは思いません。

プレゼンが終わってチームがなぜ表彰されたのかを考えてみました。絶対にほかのチームに勝る点があったはずだと。そこで思い出しました。ジャッジの方々が見ていたのは、何を、何のために提案するのか。また、誰に提案するのかを具体的に述べるのが大切と言っていました。へたくそなりにでも、僕たちのスライドにはそれが入っていました。問題点を挙げ、解決策をしっかりと提案していました。ジャッジの方々はその点をしっかりと見てくれたのだと思います。

また、現地調査を特に頑張ったと思うので、調査の評価として、データの正確性や方向性はあっているか、といった観点からも評価はされていると思います。あとは調査動機をもっと詳しくしたり、ヒアリングに関して、複数の人に聴くことで立場が違いため、違った意見が聞けるため内容も深まったと思う。

マイナス点がとても多いプレゼンになってしまいましたが、ところどころでチームの個性や熱意が伝わる良いディベートができたと思います。今回は本当に得られたものも多く充実した時間となりました。それはチームワークの大切さであったり、個人としての行動力、向上心、そして準備の大切さです。今後はこの失敗を教訓にして、私生活から何事にも興味を持ち、チャレンジしてゆく気持ちを忘れずに行動していきたいと思っています。